

愛教大の「いま」にであえる情報誌



国立大学法人
愛知教育大学
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

AUE Letter
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

あゐる

VOL.8

2023
Summer

創基一五〇周年を迎えて



子どもの声が聞こえるキャンパス
地域から頼られる大学

創基150周年を迎えた



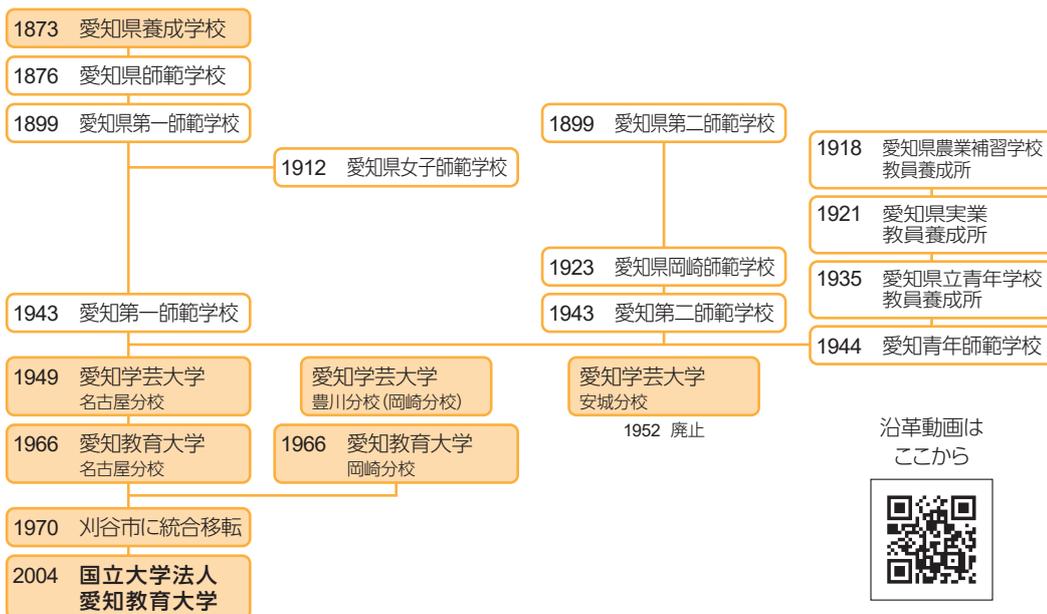
創基150周年記念事業ロゴマーク

ロゴのコンセプトは「伝統と共創」です。本学だけでなく附属学校や地域の教育の未来が華やかに開くよう、150の「0(ゼロ)」は花の輪をイメージし、本学の創基となる1873年から共に伝統を紡いできた師範学校・附属学校園・学芸大学の校章を円環状に並べました。校章は頂点から右回りに師範学校と学芸大学、左回りに附属学校園が古いものから順に並んでいます。同一校で校章や名称に変更があった場合にはひとまとめにして各創立年に合わせて並べました。また、「0(ゼロ)」の中心には、本学のシンボルマークの中心にもある「カキツバタ」を配置しました。

愛知教育大学150年の歩み

本学の歴史は1873年に設立された愛知県養成学校にさかのぼります。その後師範学校時代を経て、1949年、新制の愛知学芸大学として3つの分校体制でスタートしました。1966年に愛知教育大学に名称変更し、1970年に名古屋と岡崎から現在の刈谷キャンパスに統合移転しました。2004年に国立大学の法人化に伴い、国立大学法人愛知教育大学となり、2019年に創立70周年を迎えました。

沿革



沿革動画は
こちら



教員養成課程の変遷

教育組織は、教員養成大学として、小学校と中学校の二つの課程からスタートしました。1962年に養護教員養成課程、1964年に養護学校教員養成課程、1971年に幼稚園教員養成課程が設置され、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員と養護教諭を網羅する教員養成課程の体制が確立されました。

西暦	元号	小学校課程	中学校課程	養護教員養成課程	養護学校教員養成課程	幼稚園教員養成課程
1949	昭和 24 年	小学校課程	中学校課程			
1962	昭和 37 年	小学校課程	中学校課程	養護教員養成課程		
1964	昭和 39 年	小学校教員養成課程	中学校教員養成課程	養護教員養成課程	養護学校教員養成課程	
1971	昭和 46 年	小学校課程	中学校課程	養護教員養成課程	養護学校教員養成課程	幼稚園教員養成課程

愛知教育大学

「法人化」以降の教員養成課程

2004年、国立大学の法人化に伴い国立大学法人愛知教育大学を設置。2007年には初等教育教員養成課程に「情報選修」「英語選修」を、中等教育教員養成課程に「情報専攻」を設置しました。

2021年にこれまでの4つの教員養成課程を1つにまとめ、「幼児教育」「義務教育」「高等学校教育」「特別支援教育」「養護教育」の5つの専攻からなる「学校教員養成課程」に改組を行いました。共通的に身に付けるべき能力を育成したうえで5つの専攻制により、専門的な学びを深めます。

2020年度まで

- 初等教育教員養成課程
- 中等教育教員養成課程
- 特別支援学校教員養成課程
- 養護教諭養成課程

2021年度 学校教員養成課程

- 幼児教育専攻
- 義務教育専攻
- 高等学校教育専攻
- 特別支援教育専攻
- 養護教育専攻

多様な専門人材育成の変遷

1987年に教員に限らず多様な分野で活躍する人材の育成を目指して「総合科学課程」が設置され、さらに2007年に専門基礎教育を重視しリベラルアーツ教育の理念を取り入れた「全人教育」を行う「現代学芸課程」へと改組されました。2017年になると、時代の変化とともに子どもを取り巻く環境の多様化に対応するため現代学芸課程は改組され、教員とともに子どもの教育を支援する専門職の育成を目指し「教育支援専門職養成課程」が設置され現在に至っています。

1987年からの課程とコース

総合科学課程	日本語教育
	情報科学
	国際文化
	人間社会
	総合理学
	総合造形

2007年からの課程とコース

現代学芸課程	国際文化
	日本語教育
	臨床福祉心理
	造形文化
	情報科学
	自然科学（宇宙・物質科学専攻）
	自然科学（分子機能・生命科学専攻）

2017年からの課程とコース

教育支援専門職養成課程	心理
	福祉
	教育ガバナンス

大学院の変遷

大学院は1978年に大学院教育学研究科が設置され、2008年に教育実践研究科いわゆる教職大学院、2012年に静岡大学と共同で「後期3年博士課程」を設置しました。2019年には教育学研究科と教育実践研究科を一本化し、さらに実践的で深い学びを探究しています。

2020年に、これまでの大学院教育の成果を踏まえ、学部教育との一貫性・系統性を保ちながら、新しい学校づくりの核となり得る教員および専門職業人の養成を目指して改革を行いました。

教育実践を分析・検証し、研究力を磨く「探究力向上プログラム」、教育現場における実践的指導力・応用力を身に付ける「教職力向上プログラム」を新設し、特定教科に限定しない小学校授業に特化した「小学校教育指導系」履修区分を新設しました。

創基150周年、その先へ...

「未来共創プラン」の策定

学長就任時に私は本学のキャッチフレーズとして、「子どもの声が聞こえるキャンパス」、「地域から頼られる大学」を掲げました。そこに謳う理想の姿を実現すべく「愛知教育大学中長期ビジョン・目標・戦略」に「共に未来の教育を創る」という思いを込め、「未来共創プラン」を策定しました。このプランに沿って、本学を、未来を創る子どもたちのための教育大学として、学生だけでなく子どもたちの好奇心やチャレンジ精神も育むことのできる場としていく所存です。

愛知教育大学長 野田敦敬



愛知教育大学
未来共創プラン
未来の教育を共に創る

「未来の教育」を考える上では、これからの未来を担う子どもたちをはじめとした様々なステークホルダーの声を受けとめ、開かれた大学として共に前進していくことが不可欠であると考え、ビジョンに明記しました。

愛知教育大学は、子どもと共に、学生と共に、社会と共に、附属学校園と共に、未来の教育を創ります。



未来共創プランサイト

創基150周年記念事業・イベントのご案内

1. 記念式典の開催

■日時：令和5年11月19日(日)

■場所：愛知教育大学 講堂

■内容：

●10:00～10:50 記念式典

150年のあゆみや卒業生からの特別メッセージを紹介します。

●11:00～12:00 卒業生による記念講演会

講演者：片岡真実氏

(森美術館館長 / 国立アトリサーチセンター センター長)

演 題：「世界を学び続ける」

●13:30～15:30 記念音楽会

本学の6附属学校の児童生徒をメインに卒業生や本学管弦楽団同窓会も華を添え、150年の歩みの集大成となる心温まる記念音楽会を開催します。

フィナーレは、野田敦敬学長の指揮のもと会場全体での合唱を行います。



片岡真実氏
撮影：伊藤彰紀

2. 記念植樹の実施

シンボルツリーとして「ヒガンザクラ」を構内2か所(附属図書館、AUEスクエア)に植樹。(10月上旬を予定)既存の「ソメイヨシノ」「シダレザクラ」に「ヒガンザクラ」を加えることで「春の桜の開花リレー」を楽しむことができます。



ヒガンザクラ

3. 150周年記念誌の発行

150年にわたる愛知教育大学と附属学校園のあゆみを振り返ります。

4. 記念展覧会の開催

・記念写真展

戦前、戦後の本学の軌跡を附属図書館ではパネルで、また Web でも紹介します。

①展示場所：附属図書館日本文教出版 Atelier Nichibun (多目的スペース)

展示期間：令和5年10月14日(土)～11月23日(木・祝)

②展示場所：附属図書館 AUE インフォメーションギャラリー

展示期間：令和5年10月14日(土)～令和6年6月(予定)

・地域の教育に関する企画展

①「青い目の人形・あいちの会」と本学の合同特別企画展

展示期間：令和5年10月23日(月)～11月23日(木・祝)

展示場所：附属図書館日本文教出版 Atelier Nichibun (多目的スペース)

②二胡奏者 張濱(チャンビン)氏によるコンサート
&ワークショップ

日時：令和5年11月22日(水) 14:30～16:30

場所：次世代教育イノベーション棟

③生田流箏曲 笹野大栄和楽器朗読コンサート&ワークショップ

音楽物語「愛知・青い目の人形物語」

日時：令和5年11月23日(木・祝) 13:30～15:30

場所：次世代教育イノベーション棟



張濱(チャンビン)氏



笹野グループ

*創基150周年記念事業特設サイトを9月に公開予定
詳細は特設サイトにてご確認ください。

理事紹介

教育・学生担当

野地 恒有 理事

(略歴)

2020-2023年度 理事(教育・学生担当)、副学長

2020-2023年度 附属図書館長

2018-2019年度 学系長(人文社会科学系)、教授

テーマ 創基150年の歴史における私の「1/5の同時代史」

私が専門とする民俗学は庶民生活の同時代史の異称です。そこで、本学創基150年史の中で私がともに歩んだ約30年について、私の「1/5の同時代史」として述べてみましょう。

1987年に本学に総合科学課程が設置されましたが、私はその国際文化コース・日本文化選修へ1992年に着任しました。この総合科学課程が学芸4課程を経て2007年に現代学芸課程に改組される時に私の軸足は教員養成課程に移りました。2012年に静岡大学と共同で大学院に設置された後期3年博士課程にも、その設置準備の段階からかかわりました。そして、2020年からさらなる大学院・学部の改組が進行する中(あわせてコロナ禍拡大と制限緩和の中)で、教育・学生担当理事として奮闘しているといった創基150年目の日々です。

次の50年も眺望しながら、主体的で情熱あふれる学生を育て、子どもの未来を拓ける、質の高い教員や教育にかかわる人材を世に送り出すことを目標の一つと考えています。

次の50年も眺望しながら、
子どもの未来を拓ける学生を
育てます。



教員紹介

創基150周年記念事業ワーキンググループ委員
学生支援・国際交流・未来共創担当副学長

小塚 良孝 教授

テーマ 創基150周年記念事業ワーキンググループとしての活動

創基150周年記念事業・イベントの準備は、附属学校園と地域の皆様から多大なるご支援とご協力をいただきながら進んでいます。例えば、記念誌と写真展では多くの写真を掲載・展示しますが、附属学校園の古い写真については各学校園に所蔵されている貴重なアルバムを多数お借りして資料を得ています。

「地域の教育に関する企画展」の一つとして開催する「青い目の人形展」では、その保存・啓発活動に取り組んでおられる「青い目の人形・あいちの会」の皆様と共同ワーキングを設置し、特にこの4月からは月一回程度の打ち合わせを重ねています。この「青い目の人形展」では貴重な人形や関連資料を県内のいくつかの学校から特別にお借りして展示させていただきます。

ロゴマークのコンセプトは「伝統と共創」です。この記念事業全体が、150年の「伝統」を振り返りつつ、これからの教育の未来を「共創」するよききっかけになればと思います。

記念写真展はウェブ上でも開催します。
本学内では、暑さが一息つく頃から
一定期間附属図書館で開催します。
皆様のアクセスとご来場をお待ちして
おります。



#

愛教大 ニュース

NEWS

2023年1月～6月



愛教ちゃん



エディ

カンボジア健康教育支援プロジェクト始動

本学とカンボジア教育省との間で2021年3月に結ばれた「カンボジア健康教育支援プロジェクトにおける協力に関する覚書」に基づき、1月4日(水)から12日(木)のスケジュールで、カンボジア健康教育支援プロジェクトを実施しました。

2023年より5カ年の実施計画で、カンボジア全土に健康教育および身体測定を普及する取り組みが始まりました(コロナ禍により2年先送りされました)。今回はその初年度としての訪問です。



全国読書マラソン・コメント大賞で金賞を受賞! 布澤陽和さん(学校教員養成課程日本語支援専修3年)

第18回全国読書マラソン・コメント大賞において金賞を受賞した布澤陽和(ふざわひより)さんの功績に対して学長表彰が行われました。

読書マラソンは「大学4年間で本を100冊読もう!」を合言葉に、2002年から全国の大学生協で行われてきました。

今回はWebと従来からの手書き用紙のハイブリッドでコメントの募集が行われ、総数1,106通の応募があった中、布澤さんはノンフィクション部門で見事金賞を受賞しました。

この功績を称え、野田敦敬学長から表彰状と愛知教育大学未来基金による報奨金が手渡され、今後に向けての激励の言葉が贈られました。

布澤さんからは「これからも本とのすてきな出会いを大切にしたい」など、今後の抱負が述べられました。



「チーム学校」オンデマンド教材公開

愛知教育大学教職キャリアセンター教育支援専門職研究部門では、5年間の研究の成果物として開発したオンデマンド教材「『チーム学校』を理解するために一困難を抱える子どもたちの支援について―基礎編」の教材冊子とDVDを県内教育機関に配布し、報告書を教職キャリアセンターウェブサイトで公開しました。

このような取り組みが「チーム学校」の構成員にとって、「チーム学校」が機能し、複雑化・多様化した子どもたちの問題への対応力を高めるための一助となることを期待されます。



全学FD「次代を見据えた魅力ある教員養成プログラムの共創」

愛知教育大学未来共創プラン戦略7「教科横断探究プロジェクト」の取り組みとして、教育研究創成センターFD開発部門との共催で、全学FD「次代を見据えた魅力ある教員養成プログラムの共創」を本学で開催しました。本プロジェクトは、教科等横断し、協働的に学び合う次世代型プログラムを開発するとともに、教育効果を客観的に検証する評価システムを構築し、学生の資質向上や大学の授業改善につなげることを目指しています。



理科教育講座教員が AAS Editor's Award 2023を受賞!

田口正和教授(理科教育講座)が、Springer社のAdvance in Atmospheric Sciences (AAS) 誌の2023年編集者賞(2023 AAS Editor's Award)を受賞しました。

この賞は、AAS誌に投稿された論文に対しての優秀な査読を行った研究者に、AAS誌編集長から与えられるもので、今年20人の受賞がありました。田口教授の多大な貢献が認められました。

【受賞者の喜びの声】

この度、2023 AAS Editor's Awardをいただくことができ、うれしく思います。今後も、自らの研究の推進・発表はもちろん論文査読などにより気象学・大気科学の研究・学会の発展に努めたいと思います。また、これらの内容・活動を本学の学生教育に還元するとともに、本学のプレゼンス向上につなげたいと思います。

ネーミングライツ事業続々スタート

自然科学棟1階ラーニングcommons(136号室)において、ネーミングライツ事業を開始し「Sky Commons」として、新たにスタートしました。

命名権者であるSky株式会社は、学校をはじめとする教育現場に向けたソフトウェアの企画や開発、サポート、ICT環境整備を行っている企業です。

また養護・幼児棟1階ラーニングcommonsにおいても、「特定非営利活動法人 くるくる」による「くる2コラ3」として(※くる2:「くるくる」、コラ3:「コラボレーション×コミュニケーション×commons」)、ネーミングライツ事業をスタートさせています。



企業の社内報の表紙に本学学生のデザインを採用

学校教員養成課程義務教育専攻 図画工作・美術専修2年 永井佑貴さんの作品がトヨタ車体株式会社の社内報「TAB」の2023春号(2023年4月3日発行)の表紙を飾りました。

この企画は、トヨタ車体株式会社の広報室から地域連携センターへ依頼されたもので、トヨタ車体におけるSDGsの意識醸成を目的とした取り組みの一環として、社内報の表紙に「家族を笑顔にするクルマ『ノア・ヴォクシー』」のテーマのもとに制作された本学学生の作品を掲載するというものです。



障害学生支援に関する理解啓発講演会を開催

障害学生サポート委員会・障害学生支援室主催の「障害学生支援に関する理解啓発講演会」を開催しました。

講師として桜花学園大学の副学長・保育学部教授の柏倉秀克先生をお招きし、「特別な配慮を必要とする学生の修学支援の在り方について～発達障害等の学生を中心に～」と題してご講演いただきました。

野田敦敬学長をはじめ70人を超える教職員・学生が集まりました。



事務職員がSDGs勉強会を開催

AUEパートナーシップ団体である学生団体SAGA(サーガ)が作成したSDGs教材を用いて、事務職員の自主勉強会を開催しました。

この企画は教員養成大学に働く職員として、SDGsの目標をよく知り、その目標の一つに位置付き、かつ目標達成のための礎にもなる「持続可能な開発のための教育(ESD)」の重要性を知ることが目的に、地域連携課の職員が企画しました。



「第1回愛教大ICT見本市」を開催

4月24日(月)～28日(金)の5日間「第1回愛教大ICT見本市」を開催しました。本企画は、昨年度3月開催の全学FD「学生のICT活用指導力向上に向けて一教科教育における課題と取組を中心に」で「具体的にアプリを活用できる教員用の研修の機会を作してほしい」という要望を受け、企画し開催したものです。



女子ハンドボール部が20年ぶりの快挙! 東海学生ハンドボール春季1部リーグ戦で優勝!



令和5年度東海学生ハンドボール春季1部リーグ戦女子の部で本学ハンドボール部が優勝し、東海地区(愛知、岐阜、静岡、三重)の大学の頂点に立ちました。

なお、同大会の優勝は20年前の2003年、さらに遡ると1980年以来3回目となります。個人賞では、最優秀選手賞に栗田めぐみさん(初等教育教員養成課程保健体育選修4年)、ベストセブン(優秀選手賞)に足立愛佳さん(同4年)、笠松千夏さん(同4年)、加藤くるみさん(中等教育教員養成課程保健体育専攻4年)が選出され受賞しました。

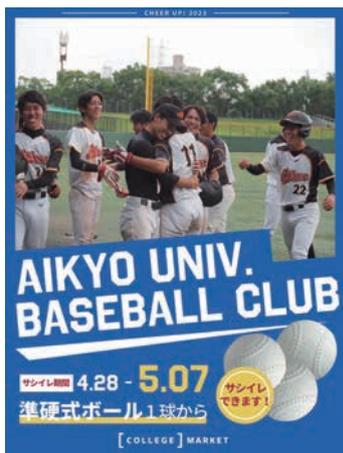
選手たちはコロナ禍で思うようにハンドボールができなかったOB・OGの想いを背負って試合で表現できるように、ベンチ入りメンバー全員がコートに立ち精一杯ハンドボールを楽しむという先輩たちから受け継いできたハンドボールスタイルをやり切って結果を出すことを目標にしました。その目標に対して主将の竹村花奈さん(中等教育教員養成課程保健体育専攻4年)や杉山裕美さん(初等教育教員養成課程保健体育選修4年)ら4年生を中心に学生全員が主体となり実践しチーム全体で協働しながら粘り強くやり遂げることができました。



準硬式野球部がcheer up!プロジェクトに参加

準硬式野球部に所属する学生たちが「cheer up!プロジェクト」に参加し、ボールの差し入れを募りました。

「卒業生先輩方の思いを継いで1部リーグで頑張っています。ただ、なかなか十分な練習ができていない状況です。卒業生の方や父兄関係者の方の支援を仰ぎたいです!練習の質を高め、1部リーグでより良い結果を残してみせます!サシレ品は通常練習や練習試合で使われます!」と呼びかけを行い、結果、目標の120個のサシレを達成しました。



「たのしいものづくり教室」で 小・中学生が熱エンジンづくりを体験

愛知教育大学科学・ものづくり教育推進センターの活動の一環として、本学美術・技術・家政棟にて小・中学生を対象にした「たのしいものづくり教室」の1講座である「形状記憶合金で熱エンジンをつくろう」を開催し、小学校3年生から中学校2年生までの子どもと保護者がものづくりの企画を楽しみました。



「キャンパス・ピアノ@図書館」を始めました

附属図書館の日本文教出版Atelier Nichibun(多目的スペース)の一角に置かれているピアノは、1969年(昭和44年)に購入された54歳のヤマハ製グランドピアノG3Eです。「廃棄しては?」との意見もありましたが、図書館としては、多目的スペースのシンボルとして残したいとの思いからこのピアノを使ったイベント「キャンパス・ピアノ@図書館」を実施することとしました。

流行りのストリートピアノを模して、図書館で開催するからにはその魅力を伝えたいと、本学で所蔵している楽譜の中から、図書館職員がセレクトした初級者から上級者向けまでのポップスやクラシックの楽譜を合わせて展示しています。



実用数学技能検定「数検」グランプリ奨励賞を受賞

実用数学技能検定「数検」グランプリは、積極的に算数・数学の学習に取り組んでいる個人・団体の努力を称え、さらに今後の指導・学習の励みとする目的で、とくに成績優秀な個人および団体を表彰する制度です。毎年、実用数学技能検定を受検した個人・団体からそれぞれ選出されます。

2022年度に実用数学検定団体受検を実施、多大な学習効果を挙げたとして、本学が公益財団法人日本数学検定協会の「実用数学技能検定「数検」グランプリ奨励賞」を受賞しました。



今年度初のクラウドファンディング1件が成立 「小学生にSDGs教材を提供」

本学では、大学をあげてSDGsへの取り組みを進めており、今回成立した事業は、その一環として実施したもので、学生団体が主体となり実施する「小学生にSDGsを楽しく学べるカード教材を提供したい!」です。

この事業には、63人の寄附者から総額113万円の支援をお寄せいただきました。多くの皆さまにご支援いただき、本学が地域から期待されている大学であることをあらためて実感することができました。

また、新聞・ケーブルテレビなど、たくさんのメディアにも取り上げていただきました。



本学附属名古屋中学校の1年生が来訪

愛知教育大学未来共創プラン戦略1「子どもキャンパスプロジェクト」の取り組みとして、本学附属名古屋中学校の1年生158人と引率教員10人が本学を訪れました。授業体験では13の教室に分かれて、大学教員による特別講義を受けたり、大学生と一緒に授業を聴講・参加したりして大学での授業の雰囲気を感じました。当日は、地元ケーブルテレビの取材もあり、本学の取り組みが注目を集めています。



学生が田植えに挑戦!

自然体験活動(創作和菓子コース)の一環で自然観察実習園において田植えを実施しました。これは、11月に開催される「あつまれ!子どもキャンパス」のおはぎ作りに使うもち米を稲から育てる体験をするものです。

終了後の学生からは、「田植えという共同作業を通して同じ授業をとっている人と仲良くなれた。このような体験は学級づくりにも有効的だと感じた」などの感想が寄せられました。

今回植えたもち米は10月頃に稲刈りをする予定です。



豊橋南高等学校教育コース3年生が訪問

豊橋南高等学校教育コース3年生30名が本学を訪問し、個人課題研究中間発表会を行いました。本学では、愛知県教育委員会との相互連携協定に基づき、県立高校教育コースの教育活動への協力を行っており、この発表会は今年で4回目になります。

各自が研究を進める中で疑問に思っていたこと、悩んでいたことなどを相談する場でもあり、それぞれが積極的に、真剣に発言する様子も見られるなど、充実した発表会となりました。



運動部 大会成績一覧

- 男子バレーボール部： 東海リーグ二部昇格
- 水泳部：東海地区国立大学体育大会水泳競技の部
 - ・女子 総合優勝
 - ・リレー全種目優勝
- 陸上競技部：東海地区国立大学陸上競技大会
下記種目1位
 - ・男子3000m障害 宇都木秀太(大学院教育学研究科1年)
 - ・男子100m決勝 福山斗偉(中等教育教員養成課程
保健体育専攻4年)
 - ・男子200m決勝 羽地広輔(義務教育専攻保健体育専修3年)
 - ・男子400m決勝 小島優佑(義務教育専攻保健体育専修3年)
 - ・男子走り幅跳び 原 和史(初等教育教員養成課程
保健体育選修4年)
 - ・女子走り幅跳び 木村莉子(初等教育教員養成課程
保健体育選修4年)
 - ・女子走り高跳び 鈴木菜美(義務教育専攻保健体育専修1年)

カルチャー系団体 活動実績

- 吹奏楽団：第66回定期演奏会(3月4日 安城市民会館)
- 落語研究会：第50回笠寺寄席(6月17日 西方院)
- 管弦楽団：第99回定期演奏会
(8月6日 刈谷市総合文化センター)
- 能楽部：全国宝生流学生能楽連盟自演会
(6月17、18日 名古屋能楽堂)
- AUEパートナーシップ団体
 - ・訪問科学実験「わくわく」
4月から8月で21件の活動(学外訪問、学内イベント)
 - ・天文愛好会CORE
刈谷ハイウェイオアシス観望会(毎月開催)
 - ・子どもの読書応援団体「よみっこ」
読み聞かせ会(今年度は5、8、11、12、2月)
 - ・学生団体[SAGA](サーガ)
テレビ出演:BSよしもと「ワシんとこ・ポスト」
6月15日(木)生放送

愛知教育大学未来基金について

愛知教育大学未来基金は、子どもたちの未来を拓くことができる教員の養成と、学校教育を支援する人材の育成に資することを目的とし、皆様からのご寄附をもとに、教育研究活動に関する支援事業、修学に関する支援事業、国際交流の推進に関する支援事業、教育研究環境に関する整備事業などに取り組んでいます。

未来基金の種類

教育研究基金：学生表彰、留学生の交流、課外活動等で、幅広く学生を支援しています。

AUE修学支援基金：経済的な理由で修学が困難な学生を支援するため創設された基金です。

◆ 使途が限定されており、具体的には次の事業に活用されます。

◆ 本学独自の返済不要「愛知教育大学奨学金ひらく」の支給

◆ 学生の海外での多文化体験活動の支援

プロジェクト等使途限定基金：特定目的の事業を実施するため、使途を特定した基金です。

リサイクル募金：読み終えた本・DVD・ブランド品等をご提供いただき、その査定換金額が未来基金に寄附される取り組みです。



令和4年度収支

収入：649件	27,559,400円	教育研究基金	213件	23,056,900円
		(創基150周年記念事業寄附を含む)		
		AUE修学支援基金	436件	4,502,500円
支出：	9,413,573円	奨学金1,488千円、学生表彰100千円、海外留学支援3,220千円、 課外活動支援200千円、国際交流事業2,000千円、その他2,406千円		

寄附者様からのコメント

◆ 無事4年間息子が修学できたのは、援助していただいたおかげです。せめてもの恩返しに寄附させていただきます。
(保護者様)

受給学生からのコメント

◆ 支援をいただくことができたおかげで、当初予定していたよりも生活に余裕ができ、充実した留学生活を送ることができました。留学先では絶対に日本ではできないような経験をさせていただくことができ、成長することができたと思います。帰国後もより一層学業に専念してまいります。
(留学支援事業受給学生)

◆ 父が今年の7月に他界しました。今後どう前向きに生きていこうか不安でいっぱいとき、「ひらく」のご支援をいただきました。皆さまが背中を押してくださっているようで、経済的、精神的に大変支えになりました。皆さまの温かいお気持ちと、生前、教師になることを心待ちにしていた父の姿を胸に頑張ります。
(AUE修学支援基金受給学生)

愛知教育大学創基150周年記念事業へのご寄附のお願い



愛知教育大学は、令和5年(2023年)に創基150年を迎えるに当たり、令和5年(2023年)秋に愛知教育大学創基150周年記念事業を行います。

そのため、愛知教育大学未来基金の寄附メニューとして「愛知教育大学創基150周年記念事業へのご寄附」を設け、ご寄附は愛知教育大学創基150周年記念事業に活用してまいります。

皆様方におかれましては、ぜひともこの趣旨にご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

愛知教育大学創基150周年記念事業へのご寄附について

概要

- **名称**：愛知教育大学創基150周年記念事業へのご寄附
- **募集期間**：令和4年(2022年)9月1日から令和6年(2024年)3月31日まで
- **募集金額**：一口1,000円(複数口のご寄附を歓迎します。)
- **実施事業**：記念式典の開催、附属学校の子どもたち等による記念音楽会の開催、記念植樹の実施、創基150周年記念パンフレットの作成、記念展覧会の開催ならびに修学や国際交流の推進に関する支援事業および教育研究環境に関する整備

詳しくは、未来基金のホームページをご覧ください。(150周年記念事業に関しては本誌4ページ参照)



愛知教育大学
未来基金HP

寄附受入実績 (2023年3月末現在)： 85件 6,334,000円

創基150周年記念事業寄附者ご芳名(2022年9月～2023年3月)

(法人・団体) 哲学教室三河同窓会 様

(個人)	浅井 富士雄 様	加藤 靖広 様	牧島 佳奈 様	神谷 己也 様
	鈴木 直政 様	内山 信司 様	加藤 雅也 様	三輪 英 様
	池田 清豪 様	伊藤 里奈 様	杉浦 英治 様	太田 豊彦 様
	久木野 鉄次 様	田崎 大輔 様	稲次 智彦 様	宮本 和人 様
	熊澤 秀彦 様	大鹿 信 様	鈴木 博志 様	浜島 治伸 様
	坂井田 醇三 様	宮島 年夫 様	新井 宏法 様	田中 八隆 様
	山本 徹 様	石井 尚 様	小口 博則 様	小口 みゆき 様
	河本 彰 様	小川 英司 様	吉田 厚司 様	市川 裕一 様
	磯部 正 様	伊藤 秀夫 様	金田 あけ美 様	古川 敬仁 様
	野田 豊 様	東上床 敏朗 様	佐古井 貞行 様	高橋 克治 様
	織田 陽子 様	馬越 恵子 様	丹羽 晃樹 様	石川 恭 様
	平野 俊英 様	近藤 鉄郎 様	小川 清嗣 様	飛鷹 茂和 様
	西島 綾香 様			

ほか、お名前の公表を希望されない寄附者様 32名



ご寄附の手続きについて

愛知教育大学未来基金へのご寄附は、インターネット・金融機関・本学財務課窓口での手続きによるご寄附となっております。本基金の趣旨をご理解いただき、複数口のご協力をいただければ幸いです。

※お申込みいただいた方の個人情報、基金関係事業のみに使用させていただき、個人情報は適切に扱います。



ご寄附の手続きについて

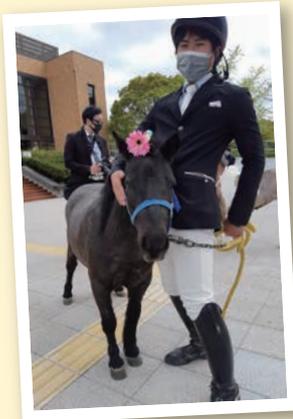
寄附者の方へのお礼について

未来基金(愛知教育大学創基150周年記念事業へのご寄附を含む)へご寄附をいただいた方には、未来基金ホームページ等の芳名録への掲載のほか、金額に応じてさまざまなお礼をご用意しております。

詳しくはホームページをご覧ください。

キャンパススナップ

入学式に出没！
新入生のお祝いに駆けつけたポニーたち！



「平和への願い」永遠に・・・
「旧広島市庁舎の敷石」展示



附属図書館入口左手に展示してある「石」にお気づきでしょうか。

広島市では旧広島市庁舎の解体に伴い、1985年から被爆石の譲渡を募集したところ、地方自治体や学校関係などから応募があり、敷石や側壁石の

譲渡が行われたとのこと。

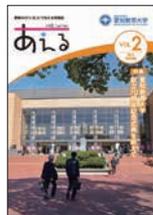
本学でも敷石を1986年4月から展示しました。そして、「平和への願い われわれは核廃絶を求める願の礎として被爆した旧広島市庁舎の敷石をここに置く 1986年4月 愛知教育大学」という言葉を刻んだ石碑も並置しています。

広報誌「あえる」backnumber

1号



2号



3号



4号



5号



6号



7号



愛知教育大学
公式マスコットキャラクター



あえちゃん



エディ



愛知教育大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



国立大学法人
愛知教育大学
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

愛知教育大学広報誌「あえるAUE Letter」VOL8
(2023 Summer) 2023年8月発行
編集・発行／愛知教育大学 総務・企画部 広報課
E-mail/kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp
<https://www.aichi-edu.ac.jp/>

